

2017 年度：都市防災概論

担当 加藤孝明

(生産技術研究所准教授, 都市工学専攻担当)

自然災害リスクの低減における都市計画の潜在的な力は大きいはずである。しかしながら、これまでの時代の中で都市計画は、その力を有効に発揮してきたとは言えない。一方、昭和 40 年代に始まった現行の防災都市計画の基本的な枠組みは大きくは変わっていない。そろそろ時代の潮流の変化にあわせて大きくモデルチェンジを行うべきである。すでにその萌芽がみられている。

本講義は、現在の都市防災を概観し、自然災害リスクの低減の観点から今後の都市計画の方向感を考える基礎的素養を習得することを目的とする。

なお、講義は加藤が行う。

【ガイダンス】

第 1 回：時代の潮流感の再認識，災害様相の体感

第 2 回：東日本大震災以降の社会の変化とその是正

【古典的防災都市計画】

第 3 回：古典的防災都市計画

第 4 回：積み残された古典的課題

【都市防災の最前線】

第 5 回：自然災害リスクを都市計画でどう制御できるか

第 6 回：東日本大震災の復興の振り返り＋復興事前準備

第 7 回：都市再生安全確保計画

第 8 回：コミュニティデザイン

評価：レポート。